

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	平成28年度公営住宅(城浜住宅その)	階数	地上6F
建設地	福岡県福岡市東区城浜団地1-40の	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居地域	平均居住人員	166 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月 予定	評価の実施日	2016年5月20日
敷地面積	2,312 m <sup>2</sup>	作成者	三好朋子
建築面積	766 m <sup>2</sup>	確認日	2016年5月27日
延床面積	3,510 m <sup>2</sup>	確認者	神川あかね



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	居心地の良いシンプルな環境を整えた住戸及び共用空間を持ったスタイルの住宅の計画に取り組んでいる。	
その他	0	
Q1 室内環境	<p>F☆☆☆☆の建材を使用することによりホルムアルデヒドの発生を抑えている。</p>	<p>居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。</p> <p>また給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、躯体や仕上げを痛めることなく更新ができる。</p>
Q2 サービス性能	<p>居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。</p> <p>また給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、躯体や仕上げを痛めることなく更新ができる。</p>	<p>周囲の環境に溶け込みやすいデザインにて計画している。</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。</p> <p>また、広告塔照明を使用せず光害抑制にも貢献している。</p>	<p>周囲の環境に溶け込みやすいデザインにて計画している。</p>
LR1 エネルギー	<p>ガス給湯器を高効率型を使用することにより、建物の設備による熱負荷を軽減している。また、白熱灯を使用していないことにより設備の省エネ化を図っている。</p>	<p>水資源保護を考慮した省エネ型大便器を採用している。</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>水資源保護を考慮した省エネ型大便器を採用している。</p>	<p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。</p> <p>また、広告塔照明を使用せず光害抑制にも貢献している。</p>
LR3 敷地外環境	<p>水資源保護を考慮した省エネ型大便器を採用している。</p>	<p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。</p> <p>また、広告塔照明を使用せず光害抑制にも貢献している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される